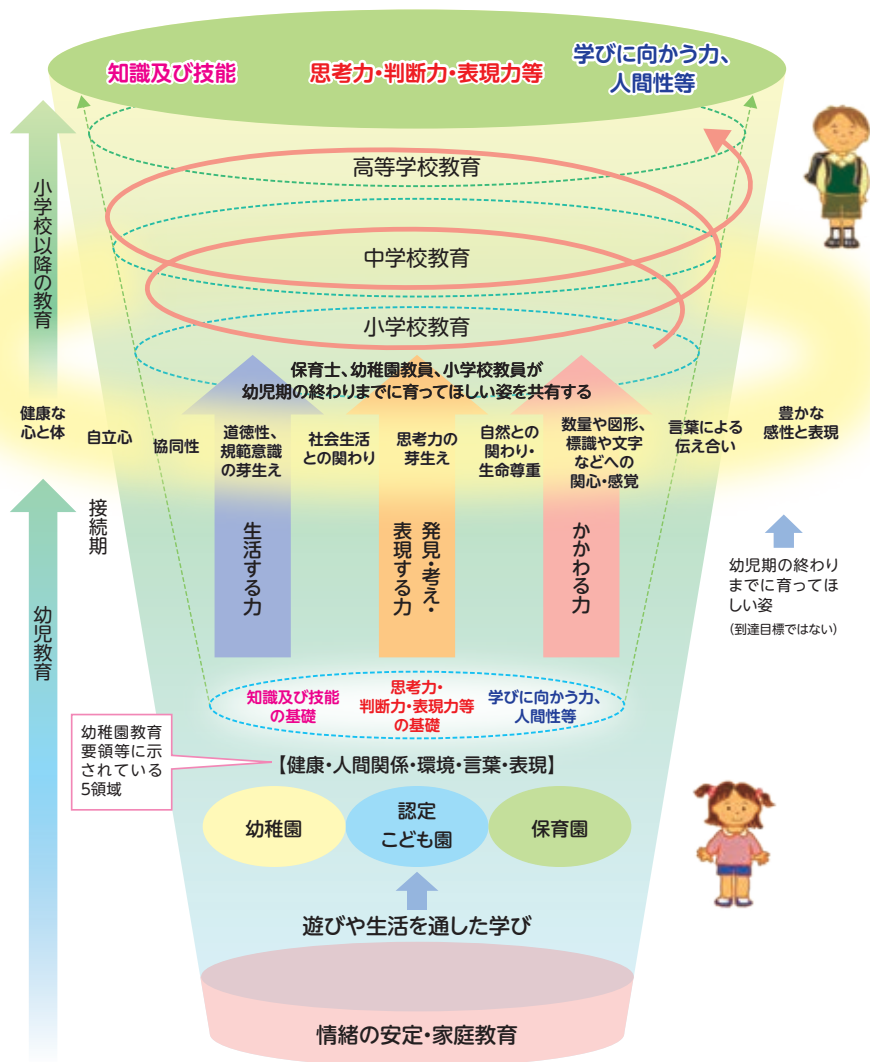


園と家庭が遊びや生活の中で「生活する力、発見・考え・表現する力、かかわる力」の三つの力を伸ばしていくと、主に5歳児の後半頃から小学校への接続期には、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(次ページ参照)」が見られるようになります。そのことは下図の上部に記載している、学校教育において育成すべき**資質・能力**(知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力、人間性等)につながっていきます。



5歳児後半から小学校への接続期になると見られるようになる「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」は、**小学校以降の生活や学習の基盤となります**。一人ひとりの子どもにはそれぞれの成長や発達の姿があり、「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」が一律に見られるものではありません。その子のよさを生かしながら、**資質・能力を育んでいきましょう**。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿^(*4)

- **健康な心と体**
自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。
- **自立心**
自分の力でやり遂げる体験などを通じて自信を持って行動するようになる。
- **協同性**
友達と一緒に目的の実現に向けて考えたり協力したりするようになる。
- **道徳性・規範意識の芽生え**
よいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動するようになる。きまりを守ったりするようになる。
- **社会生活との関わり**
家族を大切にしたり、身近な人と触れ合って地域に親しみをもつようになる。遊びや生活に必要な情報を役立てて活動したり公共施設を利用して、社会とのつながりを意識するようになる。
- **思考力の芽生え**
身近な事象から物の性質などを感じ取ったり、予想したりして、多様なかかわりを楽しむようになる。
- **自然との関わり・生命尊重**
自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。生命の不思議さなどに気付き、動植物を大切にようになる。
- **数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚**
遊びや生活の中で数量や図形、標識や文字などに親しんだりして、興味や関心、感覚をもつようになる。
- **言葉による伝え合い**
経験したことなどを言葉で伝えたり、話を聞いたりして、伝え合いを楽しむようになる。
- **豊かな感性と表現**
心動かす出来事に触れ、感じたことを表現して、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

(*4) これらは到達目標ではなく、一人一人の発達に応じて育っていきます。また、それぞれの姿の一部のみを記載していますので、詳しくは以下をご覧ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/1422302.htm
幼稚園教育パンプレット(*幼児期の終わりまでに育ってほしい姿)



P52に、図で見られた「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を掲載しています。